

週報

令和 7 年 2 月 21 日

2024～2025年度 No.22

2024-25年度 国際ロータリーのテーマ

Rotary



国際ロータリー会長

ステファニーA.アーチック



ロータリーの
マジック

プログラム

S A A 西上裕一郎君

☆点 鐘

☆ロータリーソング斉唱

「我らの生業」

☆四つのテスト斉唱

☆食 事 懇 談

☆会長の時間

☆幹 事 報 告

☆委員会報告

①親睦委員会

・スマイルボックス報告

☆部 内 卓 話

「ロータリー創立記念日卓話」

才津 喜彦君

☆点 鐘

現 在 会 員					3 0 名			前々回の欠席者（1/31）					12 名		
本 日	出席 1 5 名		欠席 9 名			免除(a)欠席 3 名		出席率 6 2 . 5 0 %							
						免除(b)欠席 3 名									
前 々 回	出席 1 5 名		MU 0 名			免除(a)MU 2 名		修 正 率 5 5 . 5 6 %							
						免除(b)MU 1 名									
月 別 出席率%	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6			
	本年度 78.04	71.13	69.88	65.22	57.70	64.55	52.95	65.86							
	前年度 77.26	83.66	87.66	84.78	89.40	90.22	92.55	95.45	88.38	88.46	89.64	75.41			

例会場
例 会
事務所
カンパーナホテル TEL(0959)72-8111
金曜日(12時30分～13時30分)
長崎県五島市末広町8-4
福江商工会議所内 TEL(0959)72-3108

会 長 片 山 雅 文
副 会 長 柳 田 靖 夫
幹 事 有 川 真 史
雑誌・会報委員長 市 村 篤

会長の時間

会長 片山 雅文君

本日は、目標達成のための効果的なツールである「マンダラチャート」についてお話させていただきます。

皆様の中には、大谷翔平選手が高校時代から活用していたことをご存知の方もいらっしゃるかもしれません。「マンダラチャート」は、目標達成のために必要な要素を可視化し、思考を整理するためのフレームワークです。

では、具体的に「マンダラチャート」とはどのようなものなのでしょうか？

マンダラチャートは、9×9の81マスで構成された図です。中心のマスに達成したい目標（中心テーマ）を書き込み、その周囲の8マスに、その目標を達成するために必要な要素（サブテーマ）を書き込みます。さらに、それぞれのサブテーマを囲む8マスに具体的な行動やアイデアを書き込んでいくことで、目標達成までの道筋を具体的に落とし込んでいくことができます。

なぜ、マンダラチャートが目標達成に有効なのでしょう？

まず、目標が明確になります。

中心テーマを明確にすることで、自分が本当に何を達成したいのかを再認識することができます。漠然とした目標を具体的に落とし込むことで、目標達成への意識を高めることができます。また、思考を整理する効果があります。目標達成に必要な要素を洗い出し整理することで、頭の中が整理され、何をすべきかが明確になります。要素を分解していく過程で、今まで気づかなかった課題や可能性を発見することもあります。そして、行動計画の具体化ができます。サブテーマを、さらに具体的な行動やアイデアに落とし込むことで、具体的な行動計画を作成することができます。何をいつまでに、どのように行うのかを明確にすることで実行に移しやすくなります。

さらに、モチベーションの維持効果があります。目標達成までの道筋が可視化されることで、モチベーションを高く保つことができます。進捗状況をチャートに記録していくことで達成感を感じやすく、継続的な取り組みに繋がります。

マンダラチャートは、ビジネスシーンだけでなく、学習や自己啓発、日常生活など、様々な場面で活用することができます。

皆様も目標達成のために、ぜひマンダラチャー

トを活用してみてもいかがでしょうか。目標達成の強力なツールとして、皆様の活動をサポートしてくれるはずです。

幹事報告

幹事 有川 真史君

【当クラブ関係】

※2月7日に開催した第8回定例理事会の報告。

(1) 橋本武敏さんの出席免除申請について、幹事の有川より説明。

橋本武敏さんから病氣療養のため、「福江ロータリークラブ定款第10条第5節(a)項」の出席義務規定免除の申請がございました。

協議の結果、以上の内容でご承認いただきました。

(2) 福江ロータリークラブの一般会計について、会計の山口さんより説明。

今後の円滑なクラブ運営のために、スマイルから500,000円を一般会計に移す事をご承認お願い致します。また、現状のままでは収入と支出のバランスから考えて、健全なクラブ運営をしていくのは非常に厳しい状況です。会費の見直しの検討をお願い致します。

協議の結果、スマイルから500,000円を一般会計に移す事についてはご承認いただきました。

また、会費の見直しについては会員の皆さんからアンケートを取り、その結果を踏まえ改めて皆さんと協議を行い最終決定する。

※例会終了後、会費見直しについてのアンケートを皆さんの事業所にFAXさせて頂きしますので、ご対応の程よろしくお願い致します。

また、福江ロータリークラブ第8回理事会議事録を作成しましたので、ご確認ください。

1. 次週2月28日（金）の例会は、クラブ定款第7条第1節d項により休会と致しますので、次回例会は3月7日（金）となります。
2. 3月2日（日）はIM（インター・シティ・ミーティング）が、ザ・グローバルビュー長崎にて開催されますので、ご参加される会員の皆さんはお間違えが無いよう日時のご確認をお願い致します。
3. 六十周年記念植樹を、三井楽の万葉公園にて3月22日（土）の13時から行う事が決定しました。詳細については改めてご案内致しますので、

ご参加の程よろしくお願い致します。

【地区関係】

1. 長崎中央RC事務局より、3月2日に開催される最終の「IMプログラム」が届いております。
2. ガバナー事務所より「ロータリー国際大会2024カルガリー国際大会参加旅行」と「カルガリー国際大会第2740地区石坂ガバナーナイト」のご案内が届いております。
3. ガバナー事務所より「唐津ロータリークラブの辻幸徳さんの訃報」が届いております。
4. 長崎東ロータリークラブ・長崎出島ロータリークラブより「例会休会のお知らせ」と、長崎中央ロータリークラブより「例会変更のお知らせ」。そして、長崎北東ロータリークラブより「例会変更・休会のお知らせ」が届いております。

委員会報告

出席報告

- ◆ 2月21日（免除(a)欠席者）
植松 郁雄君 中村 博義君 橋本 武敏君
- ◆ 2月21日（免除(b)欠席者）
清瀧 誠司君 吉田 泰之君 中村 栄治君
- ◆ 2月21日欠席者
小畑 和男君 坂井 成光君 平村 和弘君
山口 裕之君 森 正明君 市村 篤史君
野崎 薫君 井上 貴之君 村田 修君

親睦委員会

スマイル報告

- ◇才津 喜彦君 卓話させていただきます。ご清聴よろしく申し上げます。
- ◇片山 雅文君 才津喜彦さん、本日の卓話よろしく申し上げます。
- ◇柳田 靖夫君 //
- ◇有川 真史君 //
- ◇戸田 博之君 //
- ◇張本 民雄君 //
- ◇山里 一郎君 //
- ◇松岡 孝博君 //
- ◇神之浦文彦君 //

- ◇山下 克己君 //
- ◇西上裕一郎君 //
- ◇寺澤 信義君 //
- ◇宮脇 秀至君 //
- ◇浅野 謙君 //
- ◇山下 実君 欠席奉仕金として。
合計 15,000円
通算合計 386,000円

部内卓話

「ロータリー創立記念日卓話」

才津 喜彦君



本日は、ロータリー情報委員会副委員長として卓話を依頼されました。本来ですと委員長の山下克己さんなのですが、近々に卓話を行っていたこともあり、副委員長の私に回ってまいりました。私自身、今週は肝心な仕事は暇なのですが、数年ぶりに長女が帰ってきたり、次女も保育士の研修で帰ってきたり、何より2月23日（日）に東京競馬場で開催される今年最初のGIレース「第42回フェブラリーステークス」（ダート1600m）出走馬の馬体、調教診断・コースの傾向や枠順・展開予想と大変忙しいところに、神之浦プログラム委員長より卓話の依頼の電話。正直、居留守をしようかと思いましたが、「ロータリーは頼まれたら断らない」の教えのもと、引き受けさせていただきました。（フェブラリーステークス外れたら、神之浦プログラム委員長のせいにしたいと思います。）

さて、ロータリー情報委員会は会員の皆様にロータリーに関する新しい情報を提供すること、また新会員にはロータリアンとしての基本情報や必要な知識を提供することが役割となっております。

私は平成23年7月に入会させていただき、現在入会14年目になります。まだまだロータリーについては特に詳しいわけではありませんが、情報委員会の役割として誠に僭越ではございますが卓話

をさせていただきます。皆様、よろしくお願ひいたします。

今回の卓話を作るために、久しぶりに国際ロータリーのホームページを開いてみました。

【ロータリーとは】

1905年にシカゴで創設されたロータリーでは110年以上、さまざまな職業を持つ人や市民のリーダーが「世界を変える行動人」となり、その経験と知識を生かして社会奉仕活動や人道的活動に取り組んできました。識字率向上、平和構築、水と衛生の改善など、幅広い分野で持続可能な影響をもたらすために、ロータリーの会員は毎日、世界のどこかで活動しています。

【ロータリーの活動】

切迫した問題が山積みとなっているこの世界で、私たちは単なる傍観者ではなく、自ら行動する責任があると考えています。ロータリーは、以下の分野に重点を置いて活動しています。

「平和の推進」「疾病との闘い」

「水と衛生」「母子の健康」

「教育の支援」「地元経済の成長」「環境の保護」

【ロータリーの使命】

ロータリーの使命は、職業人と地域社会のリーダーのネットワークを通じて、人びとに奉仕し、高潔さを奨励し、世界理解、親善、平和を推進することです。

国際ロータリーHPに色々な情報が載っておりますので、たまにはご活用下さい。

・国際ロータリーホームページ

(<https://www.rotary.org/ja>)

それでは、創立記念日の話に移りたいと思います。1905年アメリカシカゴで商業道徳のない風潮を見かねた弁護士のパール・ハリスが、友人の洋服生地商ハイラム・ショーレー、石炭商シルベスター・シール、鉾山技師ガスターバス・ローアとともに、親睦と互助を目的として発足されました。

初会合が行われた1905年2月23日が創立日とされ、同業種間では利害関係から親睦が阻害されるとしてメンバーは一業種から一人とされました。(ちなみに、パール・ハリスは1868年(明治元)4月19日生まれ辰年。生きていれば今年157歳になります。中等学校時代はいたずら好きで、度が過ぎたのか中等学校卒業後、入学したバーモント大学を内容はよくわかりませんが、秘密結社を巻き込んだ事件で大学を退学させられております。)

3月9日に行われた2回目の会合で、印刷業ハリー・ラグルス、不動産業ウィリアム・ジェンセン、楽器商アルバート・ホワイトが加入し、個々

の会員の事務所で持ち回りで会合を開くことと、会員は事業経営者(共同経営者)か会社役員に限ることになりました。

3月23日の3回目の会合で保険業チャールズ・ニュートン、洗濯業アーサー・アーヴィンが加入し、会合を互いの事務所でローテーションで開くことから、名称を「ロータリークラブ」とし、役員も1年ごとのローテーションになったそうです。(ちなみに、初代会長は石炭商シルベスター・シール)

その後、7回目以降の会合はホテルでの昼食開催となり、4回連続して休むと会員資格を失うルールだったそうです。(ちなみに、2001年の定款細則改定により、一業種一人の廃止(一業種から人数は5人または割合10%に変更)例会出席規定も緩和されました。)

日本では1920年(大正9)、当時三井銀行の重役であった米山梅吉等が東京府(現在の東京都)に日本初のロータリークラブを、国際ロータリーから855番目に認証を受けて創立しました。

1918年(大正7)に目賀田経済使節団の一員として訪米中の米山梅吉は、当時ダラスロータリークラブに在籍の福島喜三次(きそじ)と出会い、ロータリークラブについて聞きました。ロータリークラブの例会に出席した米山梅吉は、ロータリーの利己のない奉仕の精神と行動に強い共感を持ち、日本でのロータリークラブの創立に動き出しました。元会員の福島喜三次が、日本でのロータリークラブの創立を希望していることを知り、ダラスロータリークラブの会長は国際ロータリー会長に、日本にロータリークラブ設立を進める書簡を送ったそうです。このあと国際ロータリーは直接、福島喜三次と日本におけるロータリークラブの創立に向け交渉を重ね、1920年(大正9)10月20日に創立総会が開催され、1921年(大正10)4月1日に認証を受けました。(ちなみに、東京ロータリークラブの創立にあたって、ダラスロータリークラブは国際ロータリーへの橋渡しを行ってくれたのですが、東京ロータリークラブは国際ロータリー直轄のクラブであり、スポンサークラブがダラスロータリークラブという事実はないそうです。認証状を見ても記載はないそうです。)

その後、2番目に大阪ロータリークラブ

3番目に神戸ロータリークラブ

4番目に名古屋ロータリークラブ

5番目に京都ロータリークラブ

6番目に横浜ロータリークラブ

と設立され、その後、日本全国にロータリークラ

ブが次々に拡大していきました。

我々福江ロータリークラブは、創立が1964年（昭和39）3月12日、同年5月4日に国際ロータリーから認証を受けました。

昭和37年9月26日未明に起きた福江大火の時、ロータリークラブの名前で義援金や救援物資が送られてくる。それも、知らない地域と世界各地から送られてくる。この事に感激してできたクラブであると、創立当初のメンバーの方々はおっしゃっていたそうです。創立から22年後の1986年～1987年度のガバナーとして、福江ロータリークラブより野田久雄さんを輩出しております。

また昨年、創立60周年をむかえて現在に至ります。

私自身、ロータリークラブ入会時にはロータリーに関することは、ほとんど何も知りませんでした。皆様も同じかとは思いますが、先輩方に言われたことを、そのまま何も考えずに行っていた感じでした。そんな私でしたが、2017～2018年度中村吉廣会長の時に幹事を務めさせていただき、自分なりではありますが勉強しましたし、分からない事があれば先輩方や事務局に自分から質問したりして、様々なことを学ばせていただいたと思っております。

ロータリークラブにおける様々な決まり事は、手続要覧に記載されています。この手続要覧は3年に一度、規定審議会で審議されて改訂されていますので、正確な情報は最新版の手続要覧を見るか、国際ロータリーのホームページで確認することができますので、ご参照ください。また、福江ロータリークラブについての決まり事は、福江ロータリークラブ定款、細則、内規に記載されています。新会員の方々には、入会三年未満の会員を対象とした情報集会（炉辺会議）を開催しますので、その折にはさらに詳しく説明をさせて頂こうと思っております。

締め、今回の卓話を作るにあたって大変心に残っている言葉がありました。それは、2019～2020年度ロータリー情報委員長の中村陽二さんが行った「ロータリー創立記念日卓話」の中の言葉です。中村陽二さんは、卓話の中で持論を述べただけですので、いろいろな解釈があるかとは思いますが、私にとっては大変印象に残る言葉でした。この言葉を引用させていただき、締めとさせていただきます。

私の持論ではありますが、ロータリーを語るのに難しい理屈は何もいらない。

「どこで会っても、やあと言おう」

「見つけた時にはオイと言おう」

「遠い時には手を振りあおう」

その日常茶飯事の行為そのものが、大事なのではないのでしょうか。それを実践もせずに講釈だけを並べ立てるから、話がややこしくなるのではないのでしょうか。そして、最後に私がロータリークラブで見出したいことは、それは人と人との繋がりのことです。まさに手に手つないで、つくる友の輪なのです。お互いの好意と友情を深めることによって、リングの歯車がうまくかみ合ってくるのではないかと思います。

以上、ご清聴ありがとうございました。